

はまかぜ

第31号
 December 2017
 静岡大学工学部
<http://www.eng.shizuoka.ac.jp>

工学部の近況について

工学部長 川田善正

平成29年度秋季卒業・修了式が9月14日、秋季入学式が10月5日に浜松キャンパスにてとりおこなわれました。静岡大学ではアジアブリッジプログラム(ABP)や積極的な交換留学生の受け入れなどを通して、グローバル化を推進しているため、多くの海外からの学生が卒業・修了および入学を迎えることになりました。80名を超える留学生の方が卒業・修了しました。そのうち工学部及び工学専攻(工学研究科)の学生は半分近くを占めています。また、入学式では115名の学生が新しく静岡大学に入学しました。工学部及び工学専攻の学生は36名です。国別でみると、ベトナム、インドネシアからの学生が多く、ついでバングラデッシュ、インド、マレーシア、タイ、中国など多くの国々から入学していただいています。



卒業・修了式および入学式では、留学生の方々カラフルな民族衣裳を身にまとい、式に望まれる様子(入学式の写真を参照)は日本の伝統的な卒業・修了式、入学式とは大きく趣きの異なるものでした。学長の挨拶、学生からの答辞、進行なども全て英語で行われ、静岡大学のグローバル化が進んでいることを実感させられるものでした。多く留学生により、浜松キャンパスで留学生と日本学生と一緒に勉強したり、会話している様子は日常の光景となりました。多様性に富む学生さんが互いの考え方や文化・習慣を理解し、真の意味でのグローバル化が進むことを期待しています。



「共同教育課程(博士課程)光医工学共同専攻」始動!

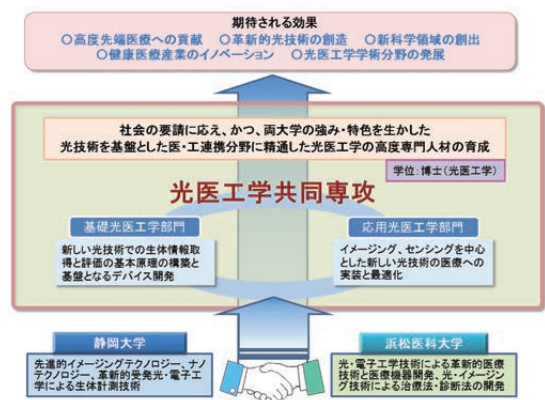
静岡大学教育担当理事・副学長 丹沢哲郎

本年8月に、静岡大学と浜松医科大学による「共同教育課程(博士課程)光医工学共同専攻」(以下「共同専攻」と略す)設置が認められ、静岡大学では新たに「光医工学研究科」を平成30年4月より立ち上げます。



言うまでもなく、近年の医療の高度化により、医療分野における革新的技術に精通した人材育成の必要性が急速に高まってきています。そして静岡大学は、工学部や電子工学研究所を中心に、光技術の分野で優れた研究成果を蓄積しています。そこで、このような光・電子工学と医学を「融合」させて新しい技術と価値を創生することにより、医療だけでなく、光産業やものづくり産業に貢献できる人材養成を目指しました。

「共同専攻」の規模は小さなものではありませんが、教育課程は独創的で、医療現場でのフィールドワークや両大学乗り入れの授業、両大学教員による指導体制、企業との共同研究への参画など魅力的な学習・研究環境が整えられています。また授業は夕刻以降に開講され、社会人が働きながら学んだり、「共同専攻」において企業での研究を進展させたりといったことも期待されています。取得する学位は「博士(光医工学)」という世界にも類を見ない学位であり、次世代の医学・工学・産業界を牽引するこれからの人材育成に期待ください。



CONTENTS

- 工学部の近況について 工学部長 川田善正 ——— ①
- 「共同教育課程(博士課程)光医工学共同専攻」始動!
 教育担当理事・副学長 丹沢哲郎 ——— ①
- 研究紹介1 化学バイオ工学科 福原長寿 ——— ②
- 研究紹介2 数理システム工学科 宮崎倫子 ——— ②
- 研究ニュース 電子物質科学科 坂元尚紀 ——— ②
- 施設紹介 新講義棟 ——— ③
- インターアカデミア IA実行委員会 原和彦 ——— ③
- 保護者会 工学部学生委員長 足達慎二 ——— ③
- テクノフェスタ 実行委員長 喜多隆介 ——— ④
- 静大祭 in 浜松 実行委員長 渡邊かおり ——— ④
- 学生部活サークル紹介 硬式テニス部 ——— ④